

分科会B「派遣留学者数の増加に向けての取組み」
2015年7月8日（早稲田大学）

Rikkyo Global 24

—10年後、全学生を海外へ—

立教大学総長室次長

こあくつ まもる

国際化推進機構課長

小唄 守



Contents

1. Rikkyo Global 24
2. 国際化推進機構
3. 国際交流（現状と目標）
4. 海外留学プログラム
5. 海外留学への支援

- 140年に及ぶリベラルアーツ教育、先進的なリーダーシップ教育
- 欧米のリベラルアーツ大学とのネットワークと対話

「カリキュラム」の改革

- 『グローバル教養副専攻』の開設
- 『グローバル・リベラルアーツプログラム』(GLAP)の開設



「学生の意識」の改革

- 『学びの技法』『学びの精神』の修得
- リーダーシップ・プログラムの正課外活動への展開

RIKKYO GLOBAL 24

「ガバナンス」の改革

- 総長のリーダーシップによるガバナンス
- 国際通用性のある人事・研修制度
- 教育の質保証
- 入試制度改革
- 教育情報の徹底的な公表

グローバル教養副専攻（留学等の海外体験必須）2016年度～

GLAP

グローバル・リベラル
アーツプログラム
2017年度～
学部を選ばず入学
チュートリアル教育
留学生と寮生活
英語による授業
Liberal Arts
Collegeへの留学

専門教育

全学共通
カリキュ
ラム

言語教育
異文化
理解

正課外・
キャリア
教育

Arts & Science Course : Citizenship・Arts・Environment

Discipline Course : 学部や研究機関の提供科目が中心

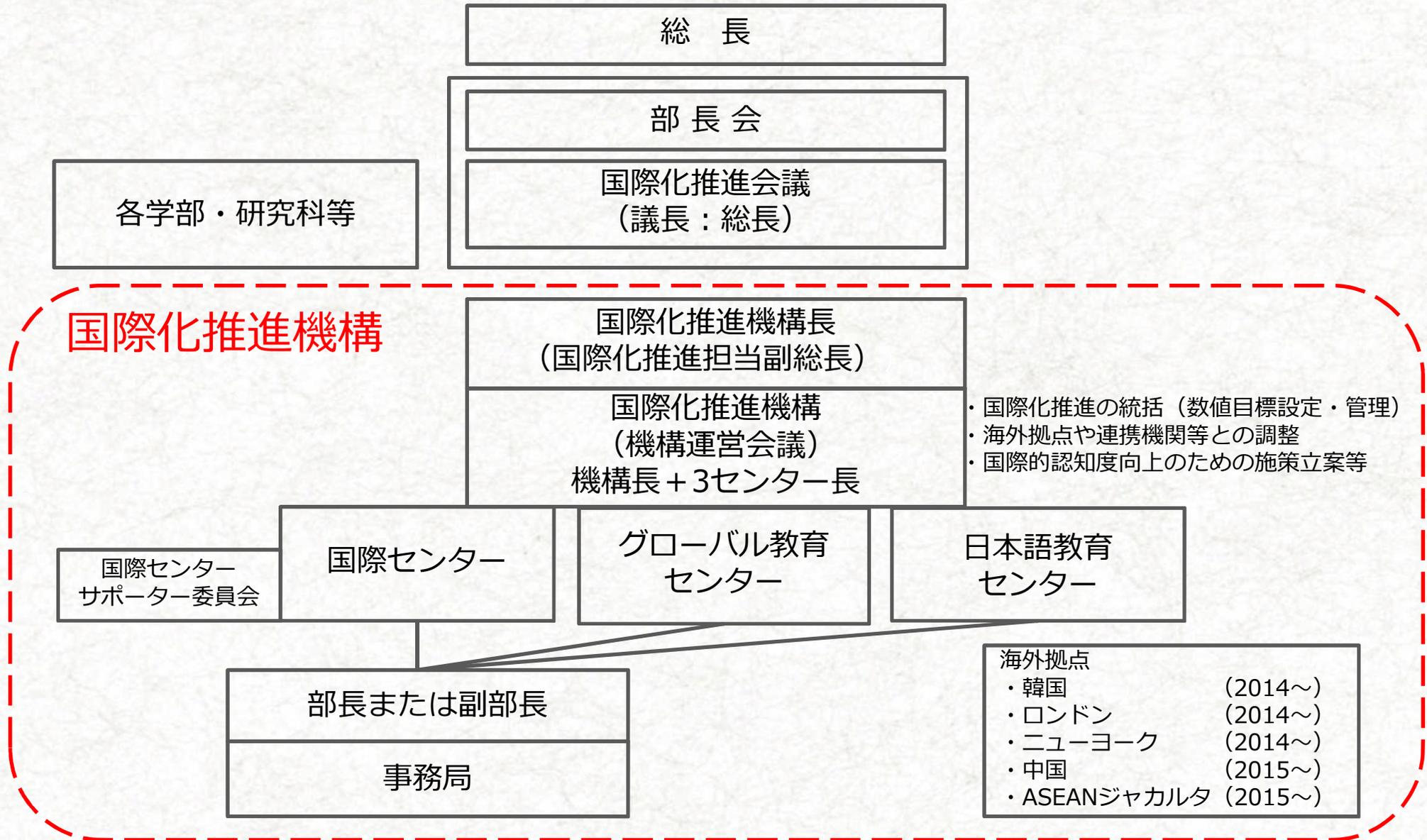
Language & Culture Course : 多様な言語科目群が中心

現状の教育プログラム

- 育成する人材像 専門性に立つグローバル教養人
「自ら考え、行動し、世界と共に生きることのできる」
新しいグローバルリーダーの輩出。
- 立教大学国際化戦略24の取り組み

Project 01-06	海外への学生派遣の拡大
Project 07-12	外国人留学生の受け入れの拡大
Project 13-18	教育・研究環境の整備
Project 19-24	国際化推進ガバナンスの強化

2. 国際化推進機構



3. 国際交流（現状と目標）

	2013 年度		2016 年度		2019 年度		2023 年度
学生の 送出し	20~25% の学生	→	30% の学生	→	50% の学生	→	全学生 100%
留学生の 受入れ	750人	→	1,000人	→	1,500人	→	2,000人
海外協定校数	123大学	→	150大学	→	210大学	→	300大学
英語試験の入試 活用	入学定員 の1.3%	→	入学定員 の10.0%	→	入学定員 の50.0%		

4. 海外留学プログラム

全学生対象
世界60校協定校
期間：1年
授業料免除

① 大学間協定 派遣留学

全学生対象
アメリカ
期間：半期、1年
授業料非免除

② 大学間協定 留学プログラム

全学生対象
アメリカ、カナダ、
オーストラリア、
アイルランド
期間：3・4週間

③ 短期語学研修

当該学部生対象
期間：2～4週間、
長期(半期、1年)

④ 各学部 留学プログラム

米国、ドイツ、フ
ランス、スペイ
ン、中国、韓国
期間：2～4週間

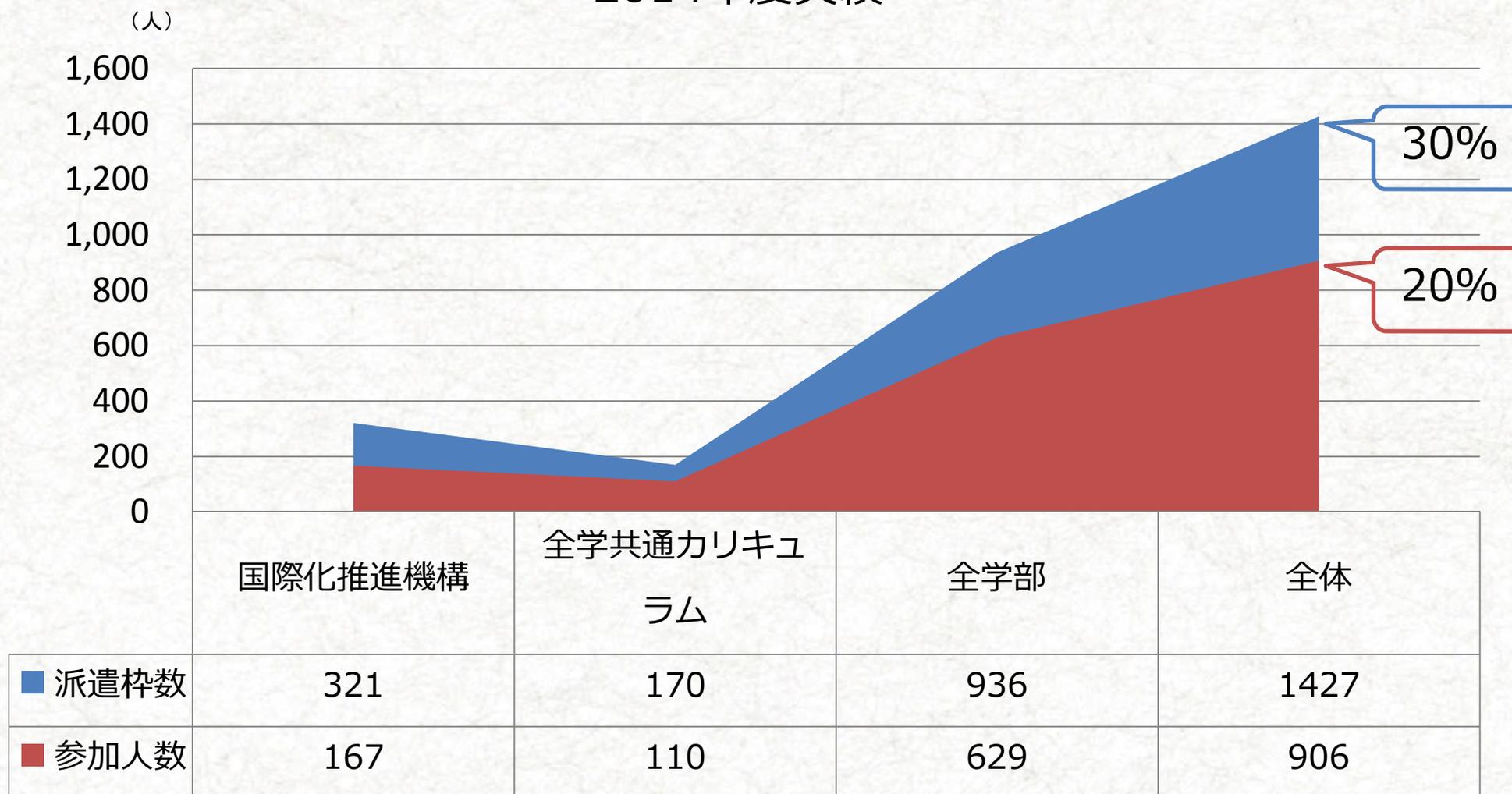
⑤ 全学共通カリキュラム 海外研修

全学生対象
個人の私費留学を
支援
期間：3カ月以上

⑥ 認定校留学

4. 海外留学プログラム

2014年度実績



4. 海外留学プログラム

■ 学生の海外体験（留学）拡大に関わる課題

□ 海外留学プログラムの問題

- ① 海外留学プログラムの絶対数が不足
- ② 海外留学プログラムに多様性が不足
- ③ 海外留学プログラムとカリキュラムの連携が希薄
- ④ 円安の影響で、海外留学プログラムが高騰

□ 学生の問題

- ① そもそも海外に興味がない
- ② 学びたいことが見つからない
- ③ 就活に追われて多忙である
- ④ 経済的な問題がある

5. 海外留学への支援

STEP 1 大学全体

カリキュラムの改革	海外留学・体験の必須化 GLAP グローバル・リベラルアーツプログラム グローバル教養副専攻 柔軟なアカデミックカレンダー 4半期科目の導入
-----------	--

STEP 2 各学部・各部局

海外留学プログラム 国際交流協定校の拡大	国際化推進機構のプログラム拡大 各学部や全学共通カリキュラムのプログラム拡大 協定校開拓、特に聖公会の大学へアプローチ重視
-------------------------	---

STEP 3 国際化推進の調整

国際化推進機構	拡大したプログラム・協定校等の交通整理を行う
---------	------------------------

5. 海外留学への支援

① 学生への支援

学生の意識改革	キャンパス内で日常的に国際交流を促進するイベントを開催し、異文化体験に興味を持たせる
語学試験への補助金	(1) TOEIC受験時の全額補助：無料で受験可能 (2) IELTS受験時の一部補助：1万円で受験可能
奨学金の新設（予定）	(1)立教グローバル奨学金新設（2016年度～） (2)成績優秀者留学支援奨学金新設（2016年度～）

② 学部への支援

プログラム開発における人的支援	国際化推進機構所属の「教育研究コーディネーター」を派遣→機構のノウハウを学部へ還元
情報収集・提供	学部海外留学プログラムを設計段階から把握 →機構や他学部とのプログラムバッティング回避
国際化業務の負担軽減（予定）	近い将来、国際化推進機構が共通業務を担う →共通作業（旅行・保険・ビザ・危機管理）を代行